「もう動かすな原発！ 福井県民署名」 2015 年 5 月 30 日発行

越 前 市 実 行 委 員 会 ニ ュ ー ス V

越前市実行委員会事務局
原子力防災計画を考える越前市民の会
〒915-0813 越前市京町１－４－33

福 井 県 知 事 あ て の 県 民 署 名
◆ 署名数 255,540 筆 ◆ （2015 年4月３０日現在）

越 前 市 長 に 署 名（４，６５０筆） 提 出

５月１８日（月）１４：００～ 生涯学習センター２Ｆ相談室

「原子力防災計画を考える越前市民の会」では、昨年７月にスタートした「もう動かすな原発！福井県民署名」の活動に併せ、独自に越前市長に対して下記の３項目を要請趣旨とした署名活動を展開してきましたが、去る５月 18 日（月）、会員５名が市長あての署名４，６５０ 筆と公開質問状を市に持参しました。

◆ 署 名 の 要 請 趣 旨 ◆

① 原子力防災計画」で市民の生命・財産は守れないと福井県知事に上申してください
② 力会社と立地並み「安全協定」を締結して下さい
③ 県内原発の運転再開に異議を表明して下さい

なお当日は、若泉政人代表が佐々木越前市総務部長に署名用紙を手渡した後、同行した会員（５人）と、出席した総務部長、危機管理監など市の関係者５人が約１時間に渡って署名の３つの要請に沿って意見交換をしました。

会では今回も事前に市長の出席を要請しましたが、残念ながら今回も市長の出席は得られませんでしたので市長への公開質問状も提出しました。

◆ 意 見 交 換 の お も な 内 容 ◆

① の要請趣旨についての意見交換

「この原子力防災計画では避難の際に市民は確実に被曝し、さらに故郷には再び戻れなくなり、市民の財産は失われることになるが、市は、市民の初期被曝についてはやむをえないと考えているのでしょうか?」との質問に対し、市は「やむをえないなどとは考えていません。被曝は避けなければいけません」と答えるのみでした。しかしながらこの避難計画に従えば、被曝を避けられないことは明白です。何度かこのやり取りを繰り返しましたが、市は県・国の防災の指針（計画）で良いと思っているとのことでした。

＝　避難時の被ばく量を市民に伝えるべき　＝

因みに「１時間当たり５００マイクロシーベルトの放射線」にさらされた場合は、法令で定められている一般人の年間被曝許容線量である１ミリシーベルトに、わずか２時間で達してしまいます。これらのことは、市が各戸に配布した防災ガイドにも説明されていません。

「原発事故が起きれば、避難時にこれだけの被曝はしますよ」ということを市民にきちんと伝えるべきであると私たちは強く指摘しておきました。

また、市は席上「災害時に市としての独自の判断をすることは地域防災計画に盛り込んでいるので、避難の判断を早めることはできる」と言っていたので、次の機会には、そこを論点にしたいと思います。

＝ 兵庫県加東市議会は、議長名で国に対し下記の様な意見書を提出しています ＝

高浜３・４号機再稼働にあたり、慎重な安全対策を求める意見書

現在、関西電力高浜原子力発電所３・４号機の再稼働が検討されている。

若狭湾での原子力発電所事故が起きた際、加東市は若狭町住民の避難受け入れが想定されている。しかし、現状では避難の受け入れ態勢について十分な協議ができているとは言いがたい状況であり、スクリーニングの体制なども不十分である。また、事故の状況によっては加東市にも放射性プルーム（放射性雲）が到達することも想定される中、兵庫県からの情報提供も不十分なものであり、加東市自体が被災した場合、避難の受け入れも困難である。

高浜原子力発電所３・４号機の再稼働にあたっては、まず安全体制の確立や、実効性のある避難計画の策定をすすめ、それらが不十分なままでの再稼働は行わないよう要望する。

なお、意見交換の席上、避難の基準（屋内退避で５００マイクロシーベルト／時を超えたら即避難）について、担当者から「私たちは専門家ではないのでよく分からない」という不用意な発言がありました。

市民を守るべき立場の行政職員が「よくわからない」などという認識のまま、このような計画を策定して良いのだろうかと強い疑問が残りました。

② の要請趣旨についての意見交換

市は電力会社と県に対し「原発の稼動に際しての越前市の事前同意が必要な『立地並みの安全協定締結』をと電力会社と県に働きかけているが、県がぐずぐず言ってまとまらない」との回答でした。

次の交渉の機会には、越前市が実際どこまで真剣にそれを求めているのか、要求行動の経緯についてもつまびらかにしてもらう必要がありそうです。

③ の要請趣旨についての意見交換

＝首長としての覚悟を持った言動を＝

函館市長や新潟知事を初めとして国に対ししっかりものを言っている首長が大勢います。越前市長も国や県に従うばかりでなく首長として市民に対し覚悟を持った言動をして欲しいものです。

なお、 原発に依存しない社会を目指し、兵庫など39都道府県の市区町村長と首長経験者ら１０９人で「脱原発をめざす首長会議」も活動しています。

少なくとも、このような場に出向き市民の声に真摯に耳を傾けていただきたいと思います。

● その他として

＝ 原子力災害は、自然災害とは違います ＝

先頃、越前市は「家庭防災対策ガイド」を全戸配布しました。原子力災害は他の自然災害とは全く次元の異なる災害です。しかしながら①風水害、土砂災害対策　②地震対策と並列に並べ、しかも「災害につよい安全で安心なまちをつくろう」というタイトルを掲げています。

福島県の自治体がこのような防災対策を作っていたら、原発事故が起きても「災害につよい安全で安心なまち」のままでいられたのでしょうか？　大きな疑問です。

＝再度、市長に対し公開質問状を提出＝

なお、今回も残念ながら市長との面会が叶わなかったので、市長に対し質問状（内容は署名の要請趣旨です）を提出致しました。

前回（昨年８月）文章での回答を得ましたが、その内容は「ニュースⅠ」でご報告したように、８万２千市民の財産と生命を守る市長として私たちの質問に誠実かつ真摯に向き合ったものではなく、すり替えやはぐらかしたようなもので全く受け入れ難いものでした。よって今回改めて市長に対し質問状を提出致しました。誠実な対応を望みます

◆ 引き続き署名活動を続けます ◆

弁護士が作った映画

「日本と原発」 ＝越前市で４回上映＝

監督／河合弘之　　構成／海渡雄一

～ なぜ弁護士が、ドキュメンタリー映画を作らねばならなかったのか ～

丸２年の歳月をかけて、弁護士二人がその眼で、そして耳で確かめた原発の真実とは

◆ 詳しくは、同封のチラシをご覧ください ◆

映画「日本と原発」は、今年３月、福井のメトロ会館で上映されましたが大変好評で、「ぜひ越前市でも上映を！」という声が上がり今回の開催に至りました。

～ぜひお友達にもお声かけ下さい～

一人でも多くの方に見ていただきたいと思います。賛同人の皆さまには当日清算券を１枚同封いたしました。なお、チラシ・チケットともに「土といのちの会」のお店“風ものがたり”あります。
また、必要な枚数を下記までご連絡いただければご持参致します。

・五十嵐靖子：０９０－７７４５－２９８０
・大久保恵子：０９０－７５８８－５３５５
・若泉　政人：０９０－７０８３－８９２１

越前市議会３月定例会提出の

高浜原発３・４号機の運転再開に反対する意見書」は継続審査

引き続き「6月議会で審査」

前回の「ニュースⅣ」でお知らせしたように、当会は越前市議会３月定例会に上記の請願を提出しました。議会運営委員会の審査の結果、継続審議になり、議会最終日の３月 20 日、本会議場にて三田村輝士議運委員長から審査結果（継続審査になった旨）の報告がありました。

それを受けて加藤吉則議員が議運の継続審査という判断を不服として「即時採択すべし」との反対討論をし、全議員での採決となりました。しかし採決の結果は継続審査に賛成 19・反対２人で議運の審査結果通り継続審査になりました。なおこの請願は６月 12 日から開催される６月定例議会で改めて審査されます。

＊ 越前市議会では過去３回に渡って、議会自らの国への意見書を採択するという快挙を行っています。
従って、今回の私たち市民団体からの請願も当然のことながら採択されるものと考えていました。
しかし、どのような事情なのか継続審査になりましたが、次回６月議会を期待したいと思います。

６月５日（金）１３：００～　議会運営委員会で会が意見陳述

上記の請願は、６月議会で引き続き審査されますが、それに先立ち６月５日に開催される議会運営委員会の席上、議会運営委員会のメンバーに対し会の若泉代表が意見陳述をします。会では３月議会でも同様なことを求めていましたが実現はできず、今議会での実現となりました。ぜひ都合の付く方は参加して下さい。

３月議会で継続審査になったことを受けて、会では越前市議会に対し「議員との意見交換会の開催」を要望しましたが、これも残念ながら議会運営委員会で「しない」との判断に至りました。

越前市議会は日頃から、開かれた議会をめざし市民との意見交換会を呼び掛けています。そのような中、今回当会が要望した意見交換会は拒否されました。会では納得できないため再考するよう伝えました。

＊注：議会運営委員会メンバー：委員長／三田村輝士　副委員長／前田修治
委　員／吉田啓三・安立里見・中西真三・福田住世

「落合恵子講演会」決定！

日　時　７月５日（日）１３：３０～
場　所　武生商工会議所パレットホール
参加費　500 円
主　催　落合恵子講演会実行委員会

＊「防災計画を考える越前市民の会」も実行委員会の構成メンバーです ＊

落合恵子さんは、憲法や原発・福祉など人権の視点から広く活動を展開し、メッセージを発信をされています。

何かと心痛むことが多い昨今、落合さんと一緒にこれからの私たちの暮らしのあり様を考えませんか。

＝　現在、チラシ・チケット作成中　＝